

テニプロレベルについて

【設定目的】 実力に応じた対戦表を作成して、白熱した大会にするため

【申告方法】 以下の基準に基づいて、大会エントリー時に申告

【テニプロレベル例】 A3（さいたま市民大会Aクラスで3回戦負け）

【アルファベットの意味】

		補足説明
H	700万人 都道府県大会本選	首都圏の都道府県の基準は、埼玉県です。
Y	700万人 都道府県大会予選	首都圏の市区町村の基準は、さいたま市です。
A	100万人 市区町村大会Aクラス	対象種目は、男子一般シングルスです。
B	100万人 市区町村大会Bクラス	<Cクラスがない市区町村大会の調整方法>
C	100万人 市区町村大会Bクラス	Bクラス上位の方はA、Bクラス1回戦負けの方はCとしてください。

【数字の意味】

		補足説明
1	1回戦敗退	128ドローを想定しているため、5回戦敗退はベスト8です。
2	2回戦敗退	ベスト4以上は上位クラスへアップしてください。
3	3回戦敗退	埼玉県大会予選は3回勝つと本戦のため、Y4やY5は存在しません。
4	4回戦敗退	公式大会に出場する機会はないが、Y2～Y3の方に常に勝っている方は、
5	5回戦敗退	Y4～Y5を申告してください。

【テニプロレベルの決定方法】

テニプロ大会出場前	基本は、直近3年間の最高戦績です。最近の調子に合わせて微調整してください。 予選がある市区町村大会の場合、予選の勝敗数で決定してください。（1勝3敗はB3、3勝1敗はA3） 公式大会に出場されていない方は、昔の戦績や同レベルのテニス仲間の戦績を参考に申告してください。
テニプロ大会出場後	対戦者のレベルと勝敗を参考にして、申告レベルと差異がある場合は、次回エントリー時に修正してください。 <<具体的な修正方法>> ①自分より上位レベルの方に続けて2回勝った場合は、次回のレベルを上げてください。 逆に下位レベルの方に続けて2回負けた場合は、レベルを下げてください。 ②レベルが2つ離れている方に勝った（負けた）場合は、1試合で1レベル上げて（下げて）ください。 但し、同レベルや1つ上（下）のレベルの方に負けて（勝って）いないことが条件となります。 <<レベルを下げる場合の注意事項>> テニプロレベルは、「埼玉県大会」や「さいたま市民大会」を基準としています。 直近3年で実績がある方（または実績がある方に勝利した場合）は、レベルを下げないでください。

【各レベル対比表】

テニプロレベル	テニスベアレベル	
H5	Lv.9 プロ	日本ランキング100位以内、日本選手権本戦出場
H4		
H3		
H2		
H1		
Y5	Lv.8 超上級	都道府県、市区町村大会の代表クラス
Y4		
Y3		
Y2		
Y1		
A5	Lv.7 上級	オープンクラスの草トーナメントや市区町村大会にて上位の戦績
A4		
A3		
A2	Lv.6 中上級	オープンクラスの草トーナメントや市区町村大会で1,2勝できる
A1		
B5		
B4		
B3		
B2		
B1		
C5		
C4		
C3		
C2	Lv.5 中級	テニススクール中上級
C1		

【都道府県人口】

2021年10月1日現在

東京都	14,011,487
神奈川県	9,236,428
大阪府	8,807,279
愛知県	7,516,008
埼玉県	7,340,945
千葉県	6,280,561
兵庫県	5,432,560
北海道	5,181,776
福岡県	5,123,371
静岡県	3,606,480

【市区町村人口】

2021年10月1日現在

横浜市	3,775,352
大阪市	2,750,835
名古屋市	2,325,916
札幌市	1,973,329
福岡市	1,619,585
川崎市	1,540,340
神戸市	1,517,073
京都市	1,453,956
さいたま市	1,332,196
広島市	1,196,222
仙台市	1,097,237